

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	社会知能情報学基礎2		
英文授業科目名	Elements of Social Intelligence and Informatics 2		
開講年度	2009年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	情報システム学研究科-情報システム学研究科-基礎科目		
開講学科・専攻	情報メディアシステム学専攻 社会知能情報学専攻 情報ネットワークシステム学専攻 情報システム基盤学専攻		
担当教官名	大須賀、稲葉、諏訪、中川		
居室	IS-731 (大須賀)、旧大学会館203B (稲葉)、旧東食堂101 (諏訪)、IS-729 (中川)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ohsuga@is.uec.ac.jp	

【講義の狙い, 目標】

社会現象のメカニズムや背景要因を把握するためには、データを収集・処理する手段や、モデルを構築する技術、データを基に推測する技術が必要となる。本講義では、少人数での演習や実験を通して、プログラム上でのモデル構築法や、データの取得方法、統計的処理法を体験し、理解することを目的とする。

【内容】

下記の3テーマを順に受講する。

[1] Java言語によるプログラム演習 (中川)

実世界の現象を理解・予測するには、計算機上で現象の特定要素をモデル化し、そのモデルを検証する手段が有効である。また、大規模データを扱う場合、プログラムを用いたデータ処理は、もはや必須の技術と言ってよい。本テーマではプログラム演習としてJava言語を用い、Javaプログラミングによるモデル構築法とデータ処理法を学ぶ。

[2] ヒトを対象とした実験・データ解析 (稲葉)

認知心理学的な実験の演習を通して、実験計画法と実験の実施方法 (実験準備、データ収集、統計的処理、解釈、報告書作成) について学ぶ。演習はグループに分かれて実施する。最後はグループ毎の発表と各自のレポート提出が求められる。

[3] 社会調査分析 (諏訪)

社会調査に基づく研究はどのように行われているのか。仮説はデータによっていかに検証されているのか。データはどのように収集されているのか。分析結果から、我々は何を知ることができるか。本講義ではこれらを理解すべく、社会調査に必要な一連の手続き (調査設計、仮説の設定、調査票作成、分析など

電気通信大学 平成21年度シラバス

）や調査の方法に関する基礎的な知識と技術について学習する。

各自がノートパソコンを持参する必要がある（難しい場合は相談に応ず）。詳細は第1回目の講義で説明する。

【教科書，参考書】

特になし

【予備知識】

統計学の基礎事項(分布,平均値,分散などの概念)は習得していることが前提。

【演習】

演習を中心とした科目。

【成績評価方法及び評価基準】

各テーマ毎に、レポート、出席状況などを評価し、それらを総合して成績評価とする。
3テーマすべてを受講する事を必須とする。

【その他】